

PRESS RELEASE (2026/07/23)

海洋プラスチック問題の「今」と「これから」を知ることができる展覧会を開催
～九州大学フジイギャラリー「海洋プラスチックの由来と影響」展（2026/8/1-10/2）～

伊都キャンパスのフジイギャラリーを会場に、海洋プラスチック問題の「今」と「これから」を知ることができる展覧会（入場無料）を開催します。

私たちにとって身近に感じにくい海洋プラスチック問題ですが、その多くは遠くからやってくるのではなく、私たちの日常生活で使われたプラスチックが道路や河川を通じて海へ流れ出し、やがてマイクロプラスチックとなることで生じています。

本展では、海洋プラスチック研究の第一人者である九州大学・磯辺篤彦主幹教授の監修のもと、近年の研究成果をもとに、海洋マイクロプラスチックの発生のプロセスをわかりやすく伝えるとともに、実物標本や漂着ごみ、将来にわたる拡散シミュレーションなどを展示します。

本展を通じて、私たちの暮らしと深く結びついているこの問題を来場者が「自分ごと」として捉え、日々の暮らしや行動を見直すきっかけとなることを目指します。

会期：2026年8月1日（土）～10月2日（金）（臨時開館日以外の土日・祝日は休館）
臨時開館日：8/1（土）、8/2（日）、8/12-14（水-金、九大夏季一斉休業期間）、9/5（土）、9/6（日）

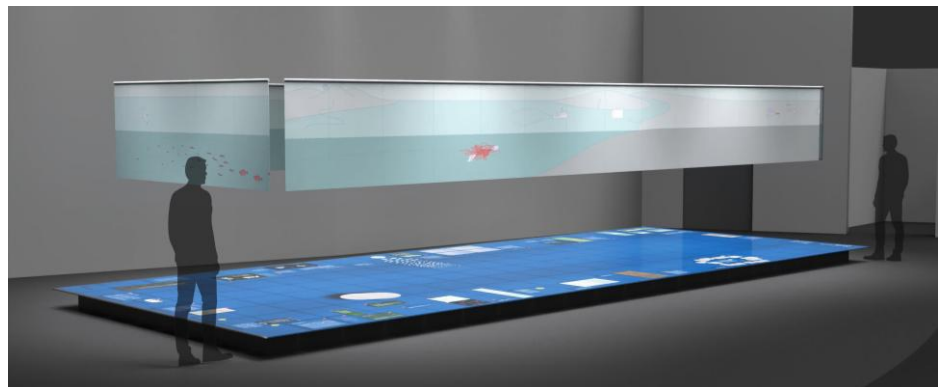
研究者からひとこと：

私たちの生活に欠かせないプラスチックが海に流出し、さまざまな影響を及ぼす過程を、多くのイラストや動画、実物サンプルなどを用いて伝えます。海洋プラスチック研究の最前線も体感できる展覧会です。海に見立てた大きな舞台の上に展開する会場構成にもご期待ください。

（未来社会デザイン統括本部シンクタンクユニット
教授・デザインディレクター 岡田栄造）



【展示会場イメージ】イラストや映像、インフォグラフィックで、研究の知見をわかりやすく伝える。



【展示会場イメージ】

頭上には生産から海へと広がるプラスチックの流れ、足元には近年の研究や取り組み事例。会場全体で、問題の全体像を俯瞰する。

海洋プラスチック問題の
「今」と「これから」を知る

海洋プラスチックの 由来と影響展

総合知で捉える地球規模の課題

海洋プラスチックの由来と影響

— 総合知で捉える地球規模の課題 — 展

The Origins and Impacts of Ocean Plastic

— A Global Challenge Through Integrated Knowledge —

九州大学未来社会デザイン統括本部 (FS本部) では、伊都キャンパスのフジイギャラリーを会場に、海洋プラスチック問題の「今」と「これから」を知ることができる展覧会を開催します。

私たちにとって身近に感じにくい海洋プラスチック問題ですが、海洋プラスチックの多くは遠くからやってくるのではなく、私たちの日常生活で使われたプラスチックが道路や河川を通じて海へ流れ出し、やがてマイクロプラスチックとなることで生じ、生態系に影響を及ぼしています。この問題は私たちの暮らしと深く結びついているのです。

本展では、近年の研究成果をもとに、海洋マイクロプラスチックの発生のプロセスをわかりやすく伝えるとともに、実物標本や漂着ごみ、将来にわたる拡散シミュレーションなどを展示し、目に見えにくい海洋プラスチック問題を研究者の視点から紹介します。展示監修は海洋プラスチック研究の第一人者である九州大学・磯辺篤彦教授。多くの人々がこの問題を「自分ごと」として捉え、日々の暮らしや行動を見直すきっかけとなることを目指します。

展示内容

1. プラスチックは何でできている？
What Is Plastic Made Of?
2. プラスチックが支える暮らし
Plastic in Our Everyday Lives
3. ゴミはどこへ消えるのか
Where Does Waste Go?
4. 捨てていないのに、流れ出ている
Not Thrown Away — Yet It Flows Out
5. 大きなプラスチックが、やがて小さくなる
How Big Plastic Becomes Small
6. 海流に乗って、世界へ広がる
Riding Ocean Currents Around the World
7. こんなにも違う、マイクロプラスチック
Just How Different They Are
8. 海の中のプラスチック地図
A Map of Plastic in the Ocean
9. 生き物の体に入り込むプラスチック
Plastic Inside Living Things
10. 私たちの体の中にも？
Inside Our Bodies Too?
11. 生き物のつながりを乱すプラスチック
Plastic That Disrupts the Web of Life
12. 拾う技術と、市民の力
Collection Technology and Citizen Power
13. ごみを資源に変える新しい化学
New Chemistry That Turns Waste into Resources
14. 自然に還る素材を目指して
Toward Materials That Return to Nature
15. 世界はどう動いているか
How Is the World Responding?



北太平洋で採集された、5mm以下のマイクロプラスチック。



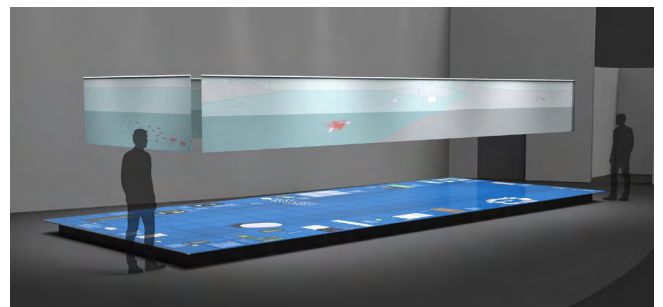
船上でマイクロプラスチックを採集する、研究の現場。



イラストや映像、インフォグラフィックで、研究の知見をわかりやすく伝える。



世界各地で観測されたマイクロプラスチックの分布。



頭上には生産から海へと広がるプラスチックの流れ、足元には近年の研究や取り組み事例。会場全体で、問題の全体像を俯瞰する。

開催期間 | 8月1日[土]-10月2日[金]

開館時間 | 10:00 ~ 16:30

休館日 | 臨時開館日以外の土・日・祝日

臨時開館日 | 8/1[土]、8/2[日]、8/12-14[水-金/九大夏季一斉休業期間]、9/5[土]、9/6[日]

入館料 | 無料

会場 | 九州大学 伊都キャンパス フジイギャラリー G2

所在地 | 〒819-0395 福岡市西区元岡 744 九州大学 伊都キャンパス センターゾーン

アクセス | 市営地下鉄・JR・昭和バスを利用、もしくは博多駅前/天神ソリアスステージ前より西鉄バスを利用して、「九大中央図書館」または「九大ビッグオレンジ」バス停下車、徒歩3分

●中央図書館のエレベーターを利用可能です。 ●当ギャラリーへは、公共交通機関でお越しください。 ●自家用車でお越しの方は、一時入構に際して入構料 (300 円) が必要です。ビッグオレンジ前もしくは椎木講堂前にある守衛所にて、所定の手続きをお願いします。

会場問い合わせ先 | Tel: 092-802-6973 Web: <https://fujii-gallery.kyushu-u.ac.jp>

展示内容についての問い合わせ先 | 岡田栄造 (未来社会デザイン統括本部 教授) okada.eizo.531@m.kyushu-u.ac.jp

●上記内容は予告無しに変更される場合があります。ご来場の際は、事前にウェブサイト等で最新情報をご確認ください。

監修 | 磯辺篤彦 (九州大学応用力学研究所 教授) 展覧会ディレクション | 岡田栄造 (FS 本部シンクタンクユニット 教授/デザインディレクター) グラフィック/会場デザイン | 富谷啓之 (FS 本部シンクタンクユニット テクニカルスタッフ) キュレーション | 緒方鳳浩 (FS 本部シンクタンクユニット 助教) 制作 | 水野理咲子 (九州大学大学院芸術工学府)、小笠原陽紀/若田佑月/松田百叶/山内志織 (九州大学芸術工学部) 施工 | 有限会社ケイ・ネットワーク 主催 | 国立大学法人九州大学 後援 | 福岡市

